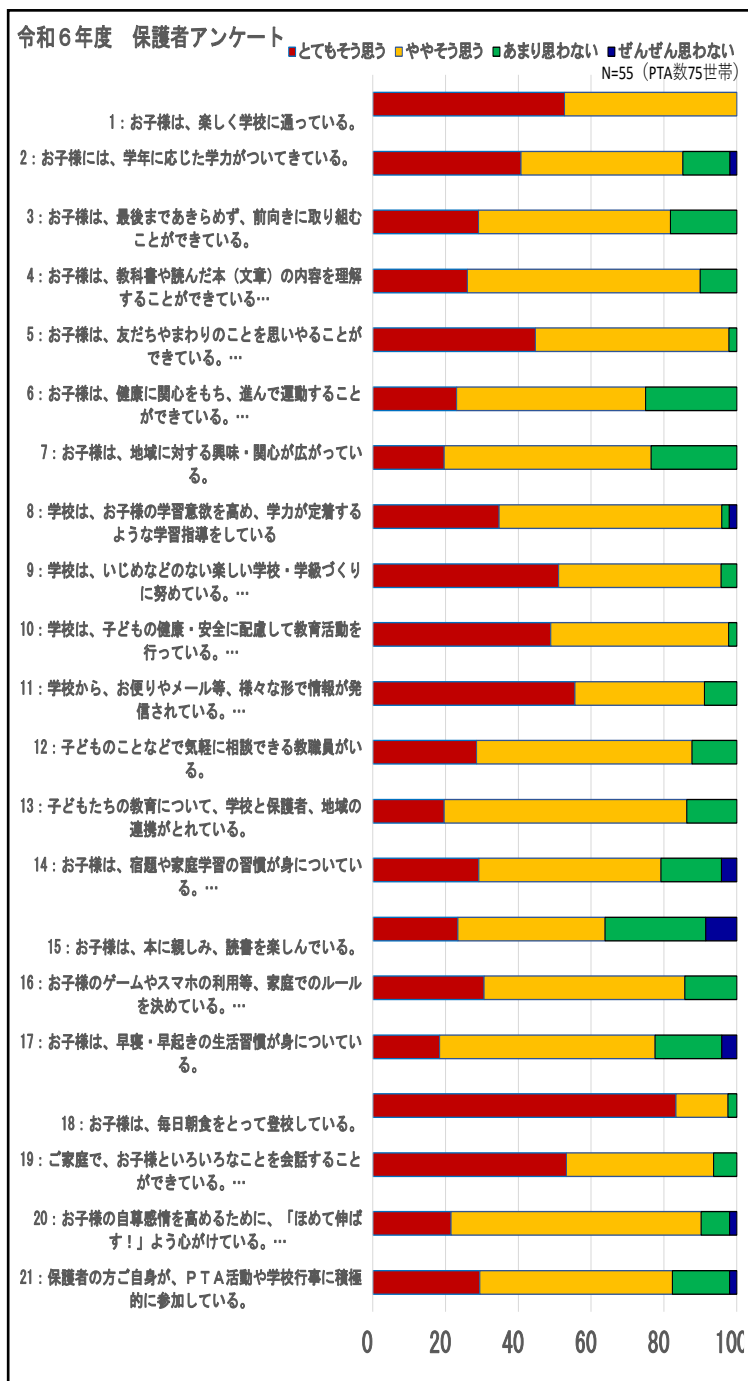




味坂っ子だより

◆「保護者アンケート」へのご協力、ありがとうございました。

12月末から1月はじめに行いました「保護者アンケート」へのご協力、ありがとうございました。55世帯の皆様からご回答をいただきました結果をお知らせしたいと思います。



全体的には、本校の取組の効果を、肯定的に感

じていただいている方が多い結果となりました。

まずは、学校生活に関することです。

嬉しかったのは、設問1「子どもたちは楽しく学

校に通っている」で、「あまり・全く」が0だったこ

とです。子どもたちが楽しく来れる学校であるこ

とは、全ての前提だと思っています。ですから、こ

こが「そう思う」が100%だったことにほっとして

います。ここに運動しているのが設問5の「思いや

り」設問8の「授業」設問9の「いじめのない学校

づくり」です。しかし、ここに関しては「あまり・全

く」が0ではありません。

また設問12「気軽に相談できる教職員の

存在」設問13「家庭・地域との連携」に関しては、

課題があります。私たちはみなさんの声を真摯

に受け止め、努力したいと思います。

次に、家庭での子どもの様子に関することで

す。設問18「毎日朝食」に関して、本当にお忙

しい中、朝食を食べて登校させていただいている

ことに感謝いたします。一方気になるのは、設問1

4「家庭学習」設問15「家庭での読書」の回答で

す。家庭学習は高学年では「家庭学習計画表」

を毎週作成し、個々の実態に合わせて進度と

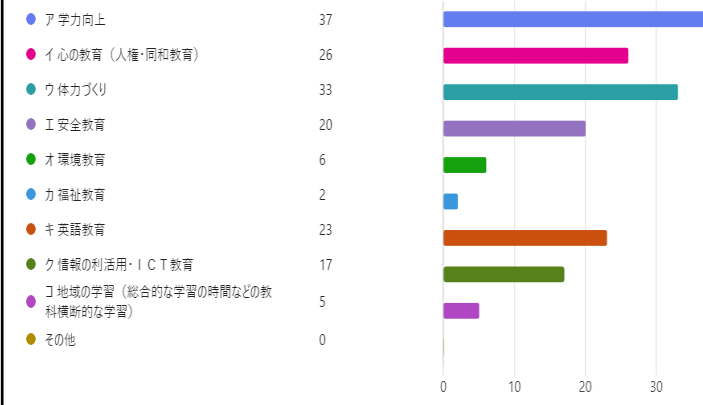
内容を定めるようにはしていますが、内容や取り

組み方については、まだまだ工夫の余地がありそ

うです。家庭での読書は昨年度同様の課題とな

課題となりました。貸し出し冊数を見る限りは、読書はしているのかなと思ったりもするのですが、家庭での読書の機会が増えるよう、また考えていきたいと思います。(裏面へ)

24.これから、学校で力を入れてほしい教育活動に○をつけてください。(3つまで)



「学校で力を入れてほしい教育活動」に関して

は、左のグラフのようになりました。

心の教育(=ぽかぽか)、学力向上(=どんどん)、体力作り(=ぐんぐん)は、学校教育の大きな3本柱ですから、引き続き力を入れて参ります。「福祉教育」に関しては、4年生で重点的に取り組む内容になりますが、「心の教育」と大きく繋がっている内容でもありますので、しっかり取り組んでいきます。

項目「地域の学習」に関して、本校は令和6年度より3年間県の重点課題研究指定校として、地域を題材とした総合的な学習の時間に取り組んでいます。

本年度は3年生が小郡市や味坂校区のよさをアピールするCMづくり、4年生が公民館で開かれている「カフェ味坂」を題材とした福祉の学習、5年生が味坂校区の農業に目をつけた「あじさこ市場」の学習に取り組みました。これからも地域を題材にした学習に数多く取り組みますので、保護者の皆様にも関心をもっていただけたら嬉しいです。

自由記述に関しては、様々な声をいただき、感謝しております。全てをここで載せることは紙面の都合上難しいですが、いくつかを紹介したいと思います。

《設問1～24に関するご意見》

- 家庭ではYoutubeやゲームなど楽しみばかりで読書をしようと思わないのかなと思います。私自身読書をする習慣がないので読書と一緒に取り組もうと思います。
- 子どもは毎日楽しく学校に通っており、帰宅してから先生のことやクラスの楽しかったことなどたくさん伝えてくれます。楽しかったことばかりでなく嫌な思いをしたことなども素直に話してくれるので、家で話してスッキリするのであればと思います。話しやすい雰囲気づくりや子どもの話に耳を傾けるよう心掛けています。
- あんしんメール、テトル、紙のお便り、電話、連絡帳などの情報のやりとりを一元化していただければ。
- このアンケートや学習を含め、全てのことがタブレットに置き換わっていくことには賛成しかねます。

《ゲームやスマホ等について、お子様とどのようなルールを決めていますか》

- 親が許可したときのみ。ゲームは週末のみ1時間程度。
- ゲームは1日1時間を限度とし、テレビと併せて1日2時間を超えてはならない。
- 学習や手伝いをしたら見ていい(Youtube)但し、必ず親のいるところでしか見てはいけません。
- ルールを決めても守らない。夫婦で方向性が違うので、結局スマホを与えてしまっている。
- ルールは特になし、好きなだけ。外出先では見ない。Youtubeは学習の手段にもなっており、本人任せ。

《お子様の自尊感情を高めるために、どのような場面でどのようなプラスの言葉を書いていますか》

- 怒ることが多いので、褒めるときはできるだけ大げさに褒めるよう心掛けています。
 - 「嫌な思いをした時」には共感、「頑張って成しえたこと」は褒める、自分のことより人のことを考えたときには褒める、とメリハリをつけています。
 - 基本、褒めるようにしています。 ○ 褒めていません
- ここには書き切れないほどたくさんのご意見や励ましの言葉をいただきました。ありがとうございました。詳細をお知りになりたい場合は、教頭までお問い合わせください。